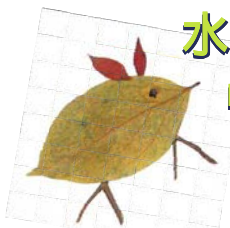


## alaクルーズ

広報第12号

平成17年11月1日



## 水野政雄のメッセージ

## 『紙や葉っぱで遊ぼうよ!!』ワークショップ

## &amp; 『生きもの夢工房』展 事業



どこにでも落ちていた小枝や枯葉などを使って動物や虫の姿を作り、子供たちに夢を与えてくれる郡上市在住の造形作家水野政雄氏の作品展「生きもの夢工房」が7月30日（土）から8月7日（日）までギャラリーで開催されました。会場の中央にはアフリカのサバンナをイメージしたジオラマが置かれ、小枝で作られた様々な動物が配置されていました。それぞれの動物の特徴を見事に表現し、簡単な作りながら一目で動物の種類が分かるように出来ており、その巧みさに来場者は感心して見入っていました。また子どもたち同士、これはキリン、これはゾウ、と言いながら見ていました。また期間中の7月31日（日）は水野氏が来館され、子どもたちに手作りの遊び方を教えるワークショップが開催されました。この日は財団が企画した「アール祭」でもあり、夏休み最初の日曜日とあって大勢の親子連れが参加して楽しみました。



会場風景



千人目の入場者

今回はサバンナの動物たち、和紙絵、板の節を上手く利用した猫、魚、恐竜など生き物をモチーフにした作品を展示しました。ギャラリー中央に展示された『サバンナ』は、水野氏の作った動物たちを置くために実行委員メンバーを中心に四苦八苦しながら手作りで完成させた大作でした。幼児から70才以上まで幅広い年齢層が来場し、展示内容について、大勢の方から面白い、素晴らしい、楽しいといった声が聞かれました。展示期間中の来場者は延1,351名でした。アール祭の7月31日(日)ワークショップ『紙や葉っぱで遊ぼうよ!!』を美術ロフトにて開催しました。午前は幼児から小学校低学年、午後は小学校高学年向けの内容で延べ66名の参加者がありました。親子などで一緒に折り紙や葉っぱ、新聞紙といった身近にある材料を使って五重の塔、紙飛行機、貼り絵などを作りました。子供たちは、あっという間にいろいろと作ってしまう先生の技に驚いたり、ちょっとした工夫やアイデアで遊びがどんどん広がっていくことを体験し本当に楽しそうに目を輝かせていました。ワークショップ、ギャラリー展示を通じて楽しい体験や作品を観ることができ子どもたちにとっては素晴らしい夏休みの思い出となったことでしょう。今後も喜ばれる企画を考えていきたいと思います。

Y・N

昨年に続き、水野先生の作品を中心に展示という形ではありましたが、今回はスタッフの手作り『サバンナ』を製作しました。スタッフ一人一人の意気込みも増して良かったのではと思います。枝木フィギアのライオン・シマウマ・キリン・アフリカゾウ等々、数十種類の動物を約4畳のサバンナの草原に放つのです。単に配置すればと思うのですが、これがなかなか……。木々・草の配置にもこだわり、見慣れない動物や鳥の名前を調べたり、いかに弱肉強食の世界を表現できるのか……。あーでもない、こーでもない賑やかなアフリカサバンナの製作現場でした。ただ借りてきた作品を作者一人の想像で並べるのみでなく、携わる人の自由な発想や想像（創造）で作品を形にするのは面白いですね。

この企画が夏休みの親子（特に子ども）を対象にするのならば子どもたちが気楽に手で触られる作品もあればいいのでは。《作品には触らないでください》の目で見ると展示のみに終わるのでは、子どもの興味も違ってくるのでは。と感じています。

N・Y